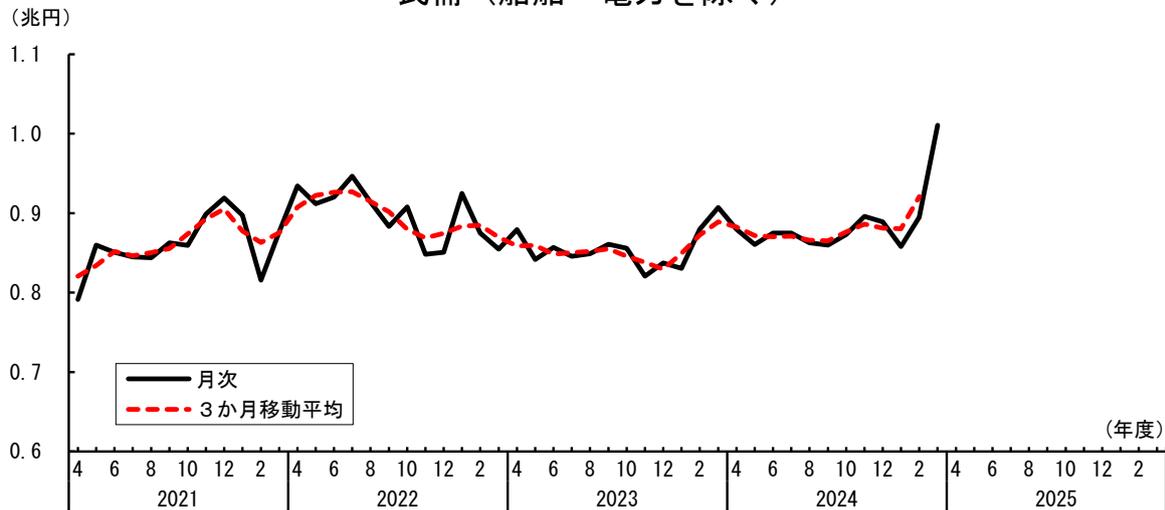


機械受注統計調査(令和7(2025)年3月実績及び令和7(2025)年4~6月見通し)
結果の概要

—機械受注は、持ち直しの動きがみられる—
(基調判断据置き)

- 民間設備投資の先行指数である「船舶・電力を除く民需」は、3月は前月と比較して13.0%増加し、2か月連続の増加となった。
- この要因として、内訳をみると、製造業が8.0%増、非製造業(船舶・電力除く)が9.6%増となったことが挙げられる。
- こうしたことから、機械受注は、持ち直しの動きがみられる。

民需(船舶・電力を除く)



対前月(期)比

(単位:%)

需要者	2024年 (令和6年)			2025年 (令和7年)		2024年 (令和6年)		2025年 (令和7年)		3月実績
	4-6月実績	7-9月実績	10-12月実績	1-3月実績	4-6月見通し	12月実績	1月実績	2月実績		
受注総額	5.9	△2.6	5.4	2.4	△1.6	△2.6	9.8	3.0	△9.4	
民需	12.5	△12.9	9.9	1.3	△1.5	△5.0	3.5	12.1	△7.0	
〃(船舶・電力を除く)	△0.1	△0.7	2.3	3.9	△2.1	△0.8	△3.5	4.3	13.0	
製造業	3.9	△5.1	9.0	△0.9	1.7	△8.4	△1.3	3.0	8.0	
非製造業(除船・電)	△3.9	2.4	△0.7	5.7	△4.5	3.3	△7.4	11.4	9.6	
官公需	△22.7	24.8	31.3	4.1	△13.9	△10.2	59.7	△20.4	△31.0	
外需	15.3	0.2	△5.3	2.5	4.8	6.5	1.9	3.4	△13.1	
代理店	△5.4	6.3	△2.5	2.8	△1.0	△6.8	6.6	△3.9	6.5	
民需(船舶電力を除く) 3か月移動平均	-	-	-	-	-	△0.6	△0.0	4.6	-	

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. △印は減少を示す。
3. 見通しは2025年3月末時点の調査。